

2016. 4. 23. 土曜

天気が危ぶまれたけど、いい天気。大人15人、こども7人参加。3軒の農家に分かれて作業をしました。援農のあとはひき続き、希望者は要さんの所で筍掘りをさせてもらい、こどもたちも掘り出して、買って帰りました。今年初めにメンバーになった新しい方も参加されました。

**要さんの畑で**

ワケギの後片付けと除草。

①まずは畑の畝に残ったワケギを引っこ抜き、根っこに付いた土を落とすために大きな株を小分けにしてから脇に積み上げて行きました



②この台車？に抜いたワケギを積み込み運び出します。



③満載。これは2回目分  
ウ〜んもったいない…



④二つ目の作業は人参畑の草割り。緑色の筋状に出ている芽が人参なので、その間の部分を鎌で削って細かい雑草をやっつけます



⑤地味ですが、こちらが作業後。  
人参の間の小さい雑草ナシ！





嘉一さんの畑で 臺が立った玉ねぎの引き抜き

玉ねぎ、そろそろ葉が倒れて収穫時なのですが、天候不順のせいか、早々に臺がたってしまった玉ねぎがたくさんできてしまって、それを抜き取る作業をしました。臺が立ってしまうと、煮ても焼いても堅い部分が玉ねぎの中にできてしまって、出荷できません。残念～。子どもたちも大活躍！しっかり見極めて抜いていました。

小さい玉ねぎなのに、根がしっかりはって  
いて、引き抜くのがたいへん！



臺（とう）が立つっていうのは、花茎が伸びること。食べる所か硬くなり、食べ頃が過ぎたということになります。昔は、女の子に対して、いわゆる適齢期が過ぎて、臺がたった、なんてよく使われたようだけど、失礼なことね～。

写真の丸いのは、ネギ坊主のつぼみです。びよ～んと硬い花茎が伸びています。100キロ以上抜いたと思います。(◁\_▷)

良三さんの畑で ひたすら草取り

ブロッコリーやキャベツがところどころ残っている畑で、ひたすら草取り。細かい草が作物に絡み付いて取りにくい～。すごく細かい作業です。手間がかかって、なかなかはかどらない。この地味～な仕事の積み重ねが、収穫に繋がって行くのですね。(写真がなくって残念(～))  
この作業のあとはナスを植えるそうです。数か月後には届きますね。お疲れ様～



援農のあとは、希望者で筍掘りをさせてもらい、買って帰りました。自分で獲った筍の味は格別でしょう。おいしく食べて、さぞ話はずんで… \ (^o^)

によきによき、  
いっぱい生えてるよ！



筍掘りのあとは、集荷場で各自持参のおにぎりと、嘉一さんの所で抜き取った玉ねぎを入れて、あま〜くおいしい味噌汁を作って、みんなで頂きました。

